

科目番号	53015	分類	専門科目 臨床看護学領域	履修者	看護科学コース	学年	
科目名	成人・老年看護学特論Ⅰ (Advanced Course in Adult and Gerontological Nursing 1)					1	
						配当セスター	
						前期	
担当者	○竹内 朋子 ・ 岩淵 起江 ・ 松本 和史	区分	選択	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標					学位授与の方針との関連		
【概要】 成人期・老年期にある対象と対象を支えるための医療・保健・看護サービスの在り方について理解を深める。さらに、多角的に医療・保健・看護サービスの現状を把握し、問題の所在を明らかにし、洞察し、諸課題に関する情報収集・分析能力及び専門分野に関する研究能力を養う。 【目標】 1. 各課題について理解を深め、成人・老年期にある対象者の健康課題の所在とその捉え方について視野を広げる 2. 高齢社会の中で、急性期医療現場における今日的課題を明らかにし、看護実践の質を担保するための対策を考察する					○	1. 看護学の継承・発展を担うための研究能力	
					○	2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力	
						3. 臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力	
						4. 看護管理者として、臨床現場においてリーダーシップをとりながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力	
					○	5. 実践を行いながら学部学生の臨床実習を指導できる能力	
授 業 計 画							
回	内 容						担当教員
第1回	急性期医療現場における今日的課題						竹内 岩淵 松本
第2・3回	危機理論をはじめとする諸理論の応用						
第4・5回	急性期医療・保健・看護における多角的探求とエビデンスの構築						
第6・7回	急性期医療・保健・看護に関する研究の動向（国内・海外）						
第8・9回	老年期にある対象者への医療・看護・介護における今日的課題						
第10・11回	老年期における心理的適応に関する諸理論の応用						
第12・13回	老年期医療・看護における多角的探求とエビデンスの構築						
第14・15回	老年期医療・看護に関する研究の動向（国内・海外）						
事前・事後学習	事前学習：必携図書等から各回の講義テーマの概要について理解しておく。 場合によっては指定の事前課題を提出する。 事後学習：講義内容を復習する。場合によっては指定のレポートを提出する。 ※単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み込むこと。						
評価の方法	参加状況（発表を含む） 課題・レポート等から総合的に評価する ※フィードバックは適宜行う。						
参考図書・資料等	◎Clifford S. Deutschman : Evidence-Based Practice of Critical Care (Elsevier) ◎Sheryl Zimmerman : Assisted Living Needs, Practices, and Policies in Residential Care for the Elderly (Jons Hopkins University Press) ・その他適宜紹介する						
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。						